

学童保育所アンケート

直営学童指導員編	1
民営学童保育所編	9
課題や要望(自由回答) 直営指導員/民営学童保育所	14

学童保育所アンケート 直営学童指導員編

【調査概要】

- 期間 令和7年8月22日～9月5日
- 対象 直営学童保育所の常勤職員
- 方法 Logoフォーム
- 回答率 対象者数:62人
有効回答数:59人
有効回答率:95.1%

【回答結果】

Q1 指導員の年齢

(人)

回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
59	0	1	3	8	26	21	0

Q2-1 資格(複数回答) (人)

回答数	保育士資格	幼稚園教諭免許	教員免許
59	28	23	31

Q3 学童保育所指導員の経験 (人)

回答数	1年未満	1年以上4年以下	5年以上9年以下	10年以上14年以下	15年以上
59	1	8	11	3	36

Q4 所属施設の登録児童数(令和7年4月時点) (人)

回答数	20人未満	20人以上35人以下	36人以上45人以下	46人以上70人以下	71人以上
59	0	3	8	27	21

Q5 入所児童数(令和7年4月時点)について、保育するにあたってどのように感じているか (人)

		回答数	多い	ちょうどよい(適切)	少ない(余裕がある)	回答なし
登録児童数	全体	59	44	11	3	1
	20人以上35人以下	3	0	0	3	0
	36人以上45人以下	8	4	4	0	0
	46人以上70人以下	27	22	4	0	1
	71人以上	21	18	3	0	0

Q6-1 「多いと感じている」児童数が多いことによる課題(複数回答)

(人)

		回答数	活動場所 が不足し ている/遊 ぶスペー スが狭い	密集する ため、事 故発生 のリスク が高い	児童全員 に十分な 見守りを することに 不安が ある	個別の支 援が必要 な児童に 十分な対 応をする ことに不 安がある	その他
全体		44	39	39	29	36	4
登録 児童 数	36人以上45人以下	4	4	4	3	4	0
	46人以上70人以下	22	18	18	14	17	2
	71人以上	18	17	17	12	15	2

その他

1	<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動へ移行するたびに全員そろふまでの時間がかかってしまうため、待たせないための工夫が必要。時間がかかるがゆえに子供たちにとって大切な遊びの時間の確保が短くなってしまふ。 ・目立つ児童、問題行動を起こす児童にばかり手がかかり、おとなしい児童には一度も声をかけずにフォローもできずに、関わりを持たないまま降所させてしまっている。 ・遊びや活動の制限(人数・時間・環境)ができてしまい、児童に提供したい遊びやゲームを実現することが困難。 ・人数が多いことで話し声が多くなり、雑音が増え、話が聞こえにくくますます声のボリュームが大きくなってしまふ悪循環。保育室全体が騒々しく放課後の疲れをくつろげないし、電話の音も聞こえない。 ・児童から遊ぶ時間がない、遊ぶ場所がない、楽しくない、早く辞めたいと声が上がると
2	おやつや学習のスペースがとてもせまい(テーブルに座りきれない)
3	指導員の指示が届きにくく、何をしたいかわからない児童が多く発生する
4	保護者との対応、出欠席の確認、問い合わせなど様々な事務、手続きが増える

Q7 加配対象児童(手帳所持)以外で、指導員が常時見守りをする必要がある児童数

(人)

回答数	0人	1~3人	4~6人	7~10人	11~15人	16~20人
59	6	12	15	9	12	5

Q8 現在の受け入れ児童数に対して、現在の職員数をどう感じるか

		回答数	多い	適正	不足して いる
全体		59	1	28	30
登録 児童 数	20人以上35人以下	3	0	3	0
	36人以上45人以下	8	0	3	5
	46人以上70人以下	27	0	9	18
	71人以上	21	1	13	7

Q9-1 「不足している」職員数が不足していることで、どのような課題があるか(複数回答)

(人)

		回答数	児童に対して十分な保育・支援をすることに不安がある	帰宅時間管理やアレルギーチェックなど適正な手順が十分にできない	事務作業の時間が確保できない	休みが取れない	長時間労働になる・時間外労働が多い	その他
全体		30	28	16	19	8	10	5
登録児童数	36人以上45人以下	5	5	4	3	2	3	0
	46人以上70人以下	18	17	9	10	5	5	3
	71人以上	7	6	3	6	1	2	2

その他の内容

1	お迎え時など、保護者へ十分にお話ができないことがあります。
2	サービス残業が多くなる
3	学童内イベントが出来ない、予定イベントが簡素化する、イベントのための時間外労働を必要とする
4	特性・持病にあわせて暴力を振ってしまう児童に職員が付き対応するが、対応に必要な児童また対応を求める児童が多く、そうではない児童への対応が意識して行うものの十分行えない。(だからといって職員の人数だけが増えればいいということでもない。)
5	不足していると選択しましたが、職員数が多ければよいわけではない。しっかりと子どもの対応、保護者対応、電話対応に連絡帳や文章がかけて、臨機応変に対応ができる職員でなければ、数がいても正直なところ戦力にならず、逆に大変になってしまいます。仕事を安全にすすめていく上で職員によっては、休みも配慮する必要ができてきます。採用基準も本当に子どもや保護者とかかわる仕事に向いているのか、しっかり判断し見極めて採用をしていただきたいです。このことから人数が多ければよいわけではなく、ただ増やせば良いわけではないと思っております。

Q11 運営上の負担や課題

(人)

	回答数	かなり課題に感じる	やや課題に感じる	どちらともいえない	あまり課題には感じていない	まったく課題はない	回答なし
イベントなどの活動内容の充実	59	7	21	12	14	4	1
要支援児童の数が多い/必要な支援が十分にできない	59	29	19	7	3	1	0
施設の老朽化	59	23	12	4	8	12	0
施設、設備の整備	59	25	18	5	8	3	0
保育室の広さ	59	26	18	7	6	2	0
外遊びなど、体を動かせる場所の確保	59	25	14	9	6	5	0
クールダウンできる場所など余裕スペースの確保	59	37	18	1	2	1	0
安全管理(事件・事故の予防)	59	21	24	7	7	0	0
保護者との連絡、情報共有	59	15	14	14	13	2	1
学校との情報共有、連携	59	19	17	11	12	0	0
困った時や緊急時に現場ですぐに相談できる体制	59	18	13	10	12	4	2
研修などスキルアップの機会の確保	59	2	18	24	12	2	1

Q12-1 子どもたちの意見や要望を聞く機会はあるか(複数回答)

(人)

回答数	子どもたちの話し合いの場を定期的に設けている	イベント実施時など、子どもたちの話し合いの場を設けている	意見や要望を伝えられる意見箱などを設けている	その他
59	21	28	2	24

その他の内容

1	お帰りの会などで聞くくらいです
2	きになることは直接個々に意見を聞いている
3	トラブルがあった時、課題や反省点、改善へ向けて全員と話し合いをしている
4	トラブル発生時など子どもと対応、子どもが話したいことに耳を傾ける時間はある
5	トラブル発生時や何か問題があったときは、随時子どもたちと話し合いの時間を設けている。
6	なし
7	意見や要望を聞く機会が設けられていない。その都度、何かあったときに話を聞く程度になっている。
8	一日の活動前に一斉に話をしたりする時や、遊びの中での何気ない日常会話で聞いたりすることがある。
9	何か問題が発生したときに適宜話し合いの場を設ける。おやつや遊びなどは、子どもたちからリクエストを記入してもらい反映する。
10	現実厳しい。子ども達の要望を聞いてあげたい気持ちは十分にあるが、職員も日々の保育と事務で忙しく、余裕がない。子供たちの遊びの時間を保証しつつ意見を聞くだけの時間がない。(5時間授業6時間授業などで学童に滞在する時間が短いから)
11	個人的には保育中に聞いたりできるが、全体に聞く場合は内容が簡単なものなら必要に応じて聞いたりする。
12	個別に児童が直接はなしてくるので、それぞれに対応をしている。
13	自由遊びに移る際、子どもたちの意見や要望を聞く場を設けている。
14	自由遊びの中で子どもに聞くこともあります。
15	定期的ではないが、行事への参加や危機管理の周知など時々に応じて意見や要望を聞くことはあります。
16	特に設定はしていないが、子ども達から意見があがることはある
17	日々、子どもたちの声には耳を傾けています。子どもファーストの保育を心がけています。
18	普段の会話などで意見を聞いている
19	毎日の帰りの会などで意見を吸い上げたりしている。また、遊びに移る前に、子どもたちから何をして遊びたいか？毎日、確認して意見を聞きながら遊びにうつるようにしている。
20	毎日の全体集合の際、子どもたちと振り返りの時間を作っている。楽しかったことだけでなく、嫌だったことや悲しかったことなどを聞いて一つ一つ丁寧に対応している。学童で起きたことは学童にいる間に解決するようにしている。
21	問題が起きた時などに、子ども達がどのように思っているかや意見をその都度聞いて、思っていることを出してもらったり、どうしたらよいか等考えてもらう問いかけをしている。
22	遊びながらや活動の合間に声を掛け、声を聴くようにしている。
23	遊びの中で(自由時間中に)会話としてはあるが、特別に時間や場所を設けてはない
24	遊びを決めるとき、鑑賞するDVDを決めるときなどに多数決や意見を募ることがある。また、その日の楽しかったことや悲しかったこと、体調の悪さなどを毎日聞くようにしている。

Q13-1 事務等について、負担に感じていること(複数回答) (人)

回答数	児童の出欠確認	児童の帰宅時間管理	保護者への連絡	各種申請の受付	日報の作成	間食費の管理	おやつのお購入	飲み物の準備
59	33	28	26	34	14	51	24	1

事故報告	特になし	その他
13	0	11

その他の内容

1	おやつ自体が必要なのか疑問に感じている。おやつを扱わなくなればアレルギーを気にする必要が減る。また、お金の管理を我々がする機会を減らす方向に持ってほしい。
2	お金の関わる責任が特に重くなってくる。他市では保育料の中におやつ代が含まれている。昔は保護者会がおやつのお取り扱いを行い、それを学童が保護者会に代行する形で取り扱いを続けてきている現状があるが、時代の流れ的に保育料に合算して良いのではないのでしょうか？そもそも保護者会が活動を停止している学童も増えてきています。最終的に会計監査を保護者の方に依頼をしますが、そのことも嫌がられてしまいます。また、おやつ代の銀行口座と保育料の銀行口座を毎回どんなに説明をしても2つ登録の認識が保護者に薄く、間違えが発生する原因となってしまうため、保育料に統一してほしい。
3	たましんのデータ作成が負担に感じている。
4	事務作業、eラーニング
5	児童の出欠や降所時間の確認は通常業務なため負担ではないですが、複数のご家庭で未記入があった場合、すぐに連絡が取れないご家庭も多いので繰り返し連絡を取ることが少々負担に感じます。
6	代替手配、管理、賃金計算が一番負担です
7	代替手配・賃金のまとめ、おたより、間食費の管理(銀行などに行くことも含め)・購入、物品購入手配、出欠確認の連絡、電子申請が多くなったが入所申請手続
8	台風、大雨、熱中症特別警戒アラートなどに対して施設長が現場にいないので判断が会計年度任用職員に託され自分で判断して動くことは責任が重いのではないかと。
9	直営の学童間で統一されていない書類(間食費内訳、行事計画書、職員シフト表等)を全て統一してほしい。統一すればどこに異動しても事務に戸惑うことがなくなる。現在使っている様式を各学童から取り寄せて、今後統一する様式を市で決めてもらえたらと思う。間食費は保育料と同じ方法で保護者から徴収する形式に変更してほしい。もしくはおやつを提供をやめる方向も良いのではないかとと思う。理由としては近年、早帰りの利用者が増えており、おやつを所望する保護者が少なくなってきたため。
10	保護者対応(特にトラブル)・保育の預け理由の目的の曖昧さ
11	毎月の代替えさんのシフトを考えること、手配すること。準公金に関する書類が多すぎる。事務仕事量に対しての事務を行う時間が短いので負担に感じてしまう。(PCを交代で使用している。とぎれとぎれに事務を行っている現状がある。事務以外にも学童保所を維持していく雑務も行っている。)13時勤務日の時はすぐ保育になるので事務を進めにくい。

Q14 システムの活用や書類の電子化について (人)

	回答数	ぜひ導入した方がよい	導入してもよい	どちらともいえない	導入したくない	回答なし
入退室管理システムの導入	59	32	18	9	0	0
保護者からの出席予定の提出、退所時間連絡の電子化	59	32	18	8	1	0
保護者連絡等へのアプリ活用	59	32	13	11	1	2
日報の電子化(EXCEL等での提出)	59	9	11	31	6	2
事故報告書等、各種提出書類の電子化	59	15	28	15	0	1

Q15 システムの活用、事務の電子化の推進に、課題や不安に感じること

1	<p>・出欠のお知らせや降所時間の連絡について電子化した場合、当日の変更は保育中だとPCを確認できない。働いている保護者にとっては当日の変更をアプリから連絡できることは魅力的で便利だと思うが、現場としては保育がすでに始まっている時間帯は対応できない。</p> <p>あらかじめ決まっている基本降所時間や出欠は従来通り紙ベースで問題ないが、もし電子化するなら連絡帳そのものを廃止すれば良いと思う。月の予定(カレンダー)はアプリやお便り等で通知、出欠の有無や基本降所時間は前月までに入力してもらい、変更があった場合(予め決まっていたらまとめて)電話連絡をもらう、その他の相談も電話連絡で対応していけると思う。</p> <p>・日報(育成日誌)については電子で簡素化が望ましい。 →(例)①全体の保育の様子、②トラブル等、③怪我対応、④今後の課題等、記述しやすいように枠があると書きやすい。書く側も読む側も時間を割くことが本当に勿体ない。職員によっては書き方に特徴(要点がまとまらず)、癖字や誤字などもあるため、それらも解消されるのではないかと思う。</p>
2	<p>・入退室管理については、現在勤務している現場ではスクールパスが導入されているが、在所児全員が登録しているわけではないことやパス忘れ・紛失、タッチ忘れ等管理しきれない課題がある。</p> <p>・保護者からの出欠・退所時間連絡等については、保育中に連絡を入れられてもデバイスを常に確認することは非常に難しく、確認漏れなどトラブルの発生を誘発すると思われる。導入するのであれば受信可能時間を決める(システム上受信できないようにする)、または大きい画面のデバイスに受信したら大きく表示されるようにするなど、どのような状況であっても見落とさないシステム合わせて導入していただきたい。</p> <p>・日報の電子化については、集中して入力する時間の確保が難しいこと、人手が少ない、また児童にかなければならないとき等現在は見えないように工夫しながら持ち歩いて隙間時間に書くことも行っているが、電子化となった場合それらかなわなくなるのではないかという不安がある。また得手不得手という懸念もある。</p> <p>・せっかくの機会なのでぜひ前向きに行っていきたいが、上記にあげた点とパソコンが一人1台ない現状の中で書類の電子化は大きな課題だと思う。</p>
3	<p>・保育中に日誌などを書く必要がある。事務室でしかパソコン作業ができないのでできる作業とできない作業がある。</p> <p>・紙ベースの書類はできるだけ減らしたいのは事実だが、職員間で共有できないと困る。</p>
4	PCが少ない。移動しても使用できるものも必要と感じる。
5	PC操作が苦手な職員にとっては、ハードルが高い。操作について聞かれることが多くなるので自分の仕事が滞ってしまう。 保育中でもすぐ見られる環境にしてほしい。
6	システムに不具合が起きた時の対応が明確にあれば助かります。
7	システムの導入には歓迎だが、今回の庶務事務システム変更に伴う取り扱い方などの説明が不十分に感じるの で、現場の意見をよく聞いていただいてから導入するのなら進めていただきたい。 また、職員がシステム導入に対応しきれない状態(年齢的なもの)があるので、マニュアルなどをしっかり作らないとPCの基本的操作からPCを扱える人にだけ負担がいつてしまう。
8	パソコンが4人職場で2台しかないのでできるタイミングが難しい。自分がパソコンに疎いことも不安。
9	パソコンが一人一台ない
10	パソコンを一人一台配置ではないこと。現在でもパソコン使用に関しては、時間外でほかの方と重ならないように使用しているため。

11	やってみなければわかりませんが、確かに細かいところは漏れが出てくることはあると思います。しかし、職員の気質も昔とは違い、心を込めてそこまで緻密に行くことを嫌がる職員、また1430時間以外の仕事はしない、と公言している職員もいる中、仕方のないことだと思う。私自身も学童職場に来た時に、広い学童で機さえもなく、RUPOで作成していたお便りがあまりもずさんだったため、ワープロ入力専門で仕事をしていた私はあまりのひどさにすべてを直してきました。またプログラムも組んでいたの電子化することには正直賛成です。しかし、それについていけない方はやめていくのかもしれませんが。私たちも機械化された保育になるかもしれません。
12	育成日誌は、手書きで書くのが慣れているしパソコンはあまり得意な方ではないので、逆に時間がかかってしまうことになりそうで心配である。
13	一人一台のパソコン環境がない状態のためすべて電子化は現場は厳しい。
14	勤務時間のほとんどが保育時間です。当学童は、1年生がほぼ100パーセントのため、13時にはその日の出席児童が全員登所します。(出席率も高いです。)事務作業は子どもがいる時間に行っています。保育中に事務を行うとすると、アナログ方式(手書き)では対応できませんが、PCに向かうことは不可能です。3人体制のため、ゆとりもありません。全員が子どもにかかわっています。電子化するのであれば、人を増やすか、事務時間を増やすかのどちらかが必要です。
15	勤務時間の中でパソコンによる事務時間をとるのは難しいと感じます。
16	具体的なイメージがわからない。
17	現在は事務室にしかパソコンがなく、持ち運べないため、子どもを見守りながらや連絡帳を見ながら作業することができないため業務の効率化にはつながっていかないと感じる(むしろ業務が増えてしまう)。持ち運べるタブレットやノートPCがあれば不安が解消されるように思う。
18	今までのようなパソコンでの入力ではなく、子どもを見守りながらのボードやノートパソコンなどの電子機器で作業したいです。
19	子どもの欠席の確認業務が毎日あります。システム化になれば有難いですが、連絡帳も毎日確認する家庭が少ない現状の中、きちんと活用してもらえないか不安である。
20	事務の電子化は導入してもよいと思うが、現実問題として、保育中のパソコンを確認する時間等の確保ができるかが課題と思う。現状は難しい。
21	自分自身が電子に不慣れで熟知していないこと。全て電子管理になることの不安がある。日誌を電子化する場合、現環境ではパソコンを使用する際、児童に背を向けることになる。
22	取り組むにあたっては、セキュリティについて緊張します。
23	出欠等の電子化、アプリ化について、具体的にどのような運用になるのかわからないのでどちらともいえないが、確認が簡単になるのであれば実施してもいいと思います。ただ、お弁当の配達でも保護者が間違えて個別に状況確認の電話をしたことがあったり、難しさを感じます。アプリを通して伝えられる降所時間をどう確認するのか等、具体的な運用の説明を細かに周知し意見を聞いてから、実施するかしないかの判断をしていただきたいです。
24	新たに習得するまでに時間がかかる。 不慣れのために間違いが多くなったら申し訳ないと思う。
25	他市の学童でも活用している所があり便利だということを知っている。
26	停電等の時、システムが使えなくなる。 保護者は、出欠のメールを送信したつもりでも、こちらにはきていない
27	電子化についての不安はありません。保護者も保育園では使用している人が殆どだと思います。小学校入学したら急にアナログになってしまうのはいかなものかと思います。実際、入所説明会でも保護者からの不満の声が聞かれました。
28	電子化になってしまえばやるしかないが、電子化されるまでの課題議論が長くなると思われる。 電子化に伴う環境問題(PC一人一台、机椅子一人一台等々)。 保育時間中の職員数。
29	電子化によって事務時間の軽減になるものについてはよいと感じています。 しかし、勤務時間内で事務作業に専念できる時間の確保がそもそも難しいため、保育中に行う事務的業務については電子化したことによって負担感が大きくなるものもあるように感じるため、一概に電子化がよいとも言い切れないと感じています。 (保育中にPCに向かうこと自体が難しい)
30	電子機器の取り扱い、不具合が生じたときの早急な対処、パソコンが一人1台ないということ、常勤が一人勤務の土曜日に不具合が生じたときの対応
31	導入されることによって対応できるか不安を感じます

32	日誌は電子化にすると事務室に入って書かなければならなくなるので、それは難しいと思います。それによって、例えば5時から本読みのみなどと、子どもたちの遊びの制限が厳しくなってしまう学童が増えるのではないかと心配します。
33	日誌を電子化で提出することは、事務室が無い学童では入力作業が難しい。 入力作業の場所の確保が必要。 紙ベースの場合は、保育を行いながら記入することも可能。
34	日報を書く時間を割くことが出来ず、残って書く職員もいないとは言いきれない。 電子化すると、パソコンが苦手な人にとっては、時間がかかりストレスにもなり得るため、お考えいただきたい。
35	保育時間中に電子での日報の作成ができるか不安です。
36	保育中にパソコンに目を通す余裕があるか不安です。 出欠確認の取れない家庭があるため、欠席の連絡だけでも電子化にしていいただきたいと感じています。
37	保護者からの出席予定がリアルタイムに変更もかけられるとしたら、その出欠及び、時間ごとに児童名が一人帰りとお迎えなど、デジタル表示で反映される状態にできるのであれば、降所間違いも起こりにくく大変良いと思います。現在、どの学童もホワイトボードで降所児童の名前の管理をしていると思います。それをデジタル表記できる環境作りが必須だと思います。
38	忘れてしまった時の対応の徹底化
39	連絡帳アプリ活用方法が具体的に分からないので、学童側がどのように情報を確認できるのか等知りたい。 また日報については、保育中であるため日誌を書く場所が事務机ではないため、現在のパソコンを使用するのであれば、難しい。

学童保育所アンケート 民営学童保育所編

【調査概要】

■期間 令和7年8月22日～9月5日

■対象 市内民営学童保育所

■方法 Logoフォーム

■回答率 対象数:21か所

有効回答数:21

有効回答率:100%

【回答結果】

Q1 回答者

回答数	学童保育所現場責任者・リーダー	リーダー以外の常勤職員	その他
21	18	3	0

Q2 登録児童数(令和7年4月時点)

回答数	20人未満	20人以上35人以下	36人以上45人以下	46人以上70人以下	71人以上
21	3	5	3	9	1

Q3 入所児童数(令和7年4月時点)について、保育するにあたってどのように感じているか

		回答数	多い	ちょうどよい(適切)	少ない(余裕がある)
	全体	21	11	9	1
登録児童数	20人未満	3	0	2	1
	20人以上35人以下	5	2	3	0
	36人以上45人以下	3	2	1	0
	46人以上70人以下	9	6	3	0
	71人以上	1	1	0	0

Q4 (「多いと感じている」)児童数が多いことによる課題

		回答数	活動場所が不足している/遊ぶスペースが狭い	密集するため、事故発生リスクが高い	児童全員に十分な見守りをするに不安がある	個別の支援が必要な児童に十分な対応することに不安がある	その他
	全体	11	10	10	5	4	0
登録児童数	20人未満	0	0	0	0	0	0
	20人以上35人以下	2	2	2	1	1	0
	36人以上45人以下	2	2	2	0	0	0
	46人以上70人以下	6	5	5	3	2	0
	71人以上	1	1	1	1	1	0

Q5 加配対象児童(手帳所持)以外で、指導員が常時見守りをする必要がある児童数

回答数	0人	1～3人	4～6人	7～10人	11～15人	16～20人
21	12	3	4	2	0	0

Q6-1 常勤職員配置人数

		回答数	1人	2人	3人	4人	5人
登録児童数	全体	21	6	5	3	6	1
	20人未満	3	1	1	0	1	0
	20人以上35人以下	5	3	2	0	0	0
	36人以上45人以下	3	1	0	2	0	0
	46人以上70人以下	9	1	2	1	4	1
	71人以上	1	0	0	0	1	0

Q6-2 非常勤職員配置人数

		回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人
全体		21	5	4	6	5	0	1
20人未満		3	1	1	1	0	0	0
20人以上35人以下		5	2	1	2	0	0	0
36人以上45人以下		3	1	1	0	0	0	1
46人以上70人以下		9	1	1	3	4	0	0
71人以上		1	0	0	0	1	0	0

Q6-3 常勤職員勤務人数(1日平均)

		回答数	1人	2人	3人	4人	8人
登録児童数	全体	21	7	8	3	2	1
	20人未満	3	1	1	0	1	0
	20人以上35人以下	5	1	4	0	0	0
	36人以上45人以下	3	1	0	2	0	0
	46人以上70人以下	9	4	2	1	1	1
	71人以上	1	0	1	0	0	0

Q6-4 非常勤職員勤務人数(1日平均)

		回答数	1人	2人	3人
全体		21	8	6	7
登録児童数	20人未満	3	1	2	0
	20人以上35人以下	5	2	2	1
	36人以上45人以下	3	0	1	2
	46人以上70人以下	9	4	1	4
	71人以上	1	1	0	0

Q7 現在の受け入れ児童数に対して、現在の職員数をどう感じるか

		回答数	多い	適正	不足している
全体		21	1	10	10
登録児童数	20人未満	3	0	1	2
	20人以上35人以下	5	1	4	0
	36人以上45人以下	3	0	1	2
	46人以上70人以下	9	0	4	5
	71人以上	1	0	0	1

Q8 「不足している」職員数が不足していることで、どのような課題があるか(複数回答)

		回答数	児童に対して十分な保育・支援をすることに不安がある	帰宅時間管理やアレルギーチェックなど適正な手順が十分にできない	事務作業の時間が確保できない	休みが取れない	長時間労働になる・時間外労働が多い	その他
全体		21	8	2	3	7	7	2
登録児童数	20人未満	3	2	0	0	2	1	0
	20人以上35人以下	5	0	0	0	0	0	0
	36人以上45人以下	3	0	0	1	1	1	1
	46人以上70人以下	9	5	2	1	4	4	0
	71人以上	1	1	0	1	0	1	1

その他の内容

1	見るべき部屋が多いので、加配のいない日の2名体制だと見守りが足りなくなるため一部の活動場所を減らすなどの対応が必要になる
2	ぎりぎりの人数で回しているため、当日欠勤が出た場合に補充することが負担となっている。

Q10 運営上の負担や課題

	回答数	かなり課題に感じる	やや課題に感じる	どちらともいえない	あまり課題には感じていない	まったく課題はない	回答なし
イベントなどの活動内容の充実	21	2	8	4	7	0	0
要支援児童の数が多 い/必要な支援が十分にできない	21	3	10	5	2	1	0
施設の老朽化	21	7	4	1	3	5	1
施設、設備の整備	21	4	10	2	3	2	0
保育室の広さ	21	4	12	1	3	1	0
外遊びなど、体を動かせる場所の確保	21	9	6	1	5	0	0
クールダウンできる場所など余裕スペースの確保	21	12	6	0	3	0	0
安全管理(事件・事故の予防)	21	1	9	6	5	0	0
保護者との連絡、情報共有	21	2	6	4	7	2	0
学校との情報共有、連携	21	5	11	3	1	1	0
困った時や緊急時に現場ですぐに相談できる体制	21	2	6	6	5	2	0
研修などスキルアップの機会の確保	21	3	2	9	7	0	0

Q11 子どもたちの意見や要望を聞く機会はあるか(複数回答)

回答数	子どもたちの話し合いの場を定期的に設けている	イベント実施時など、子どもたちの話し合いの場を設けている	意見や要望を伝えられる意見箱などを設けている	その他
21	6	12	5	5

その他の内容

1	こどもと職員が1対1で話す時間を年に1回設けている
2	逐一場を設けずとも、発言の得手不得手関係なく、その都度意見や要望を遠慮なく職員に言ってもらえる関係作りに努めています。
3	特にそういった機会は設けてはいません。要望や意見はその都度伝えてもらっています。
4	特別な機会は設けていないが、日々の保育の中で子どもたちの意見などを直接聞くようにしている
5	日々の生活・遊びの中でも、小さなトラブルでも、児童たち一人ひとりに考えてもらい必要であればルールを決めて掲示物を作成してもらうことも活動の一つとしてもらっています。行事では特にリーダーシップをとれる児童を発掘し育て、サポートできるサブリーダーの役割も積極的にチャレンジできるように遊びやゲームを設定します。この中で、成功体験を少しずつ重ねて、全体で協力することの大切さを学び喜びで一体感ができるように指導しています。職員は導きながら児童たちで行う行事をしています。

Q12 事務等について、負担に感じていること(複数回答)

回答数	児童の出欠確認	児童の帰宅時間管理	保護者への連絡	各種申請の受付	日報の作成	間食費の管理	おやつのお購入
21	9	9	9	10	5	11	9

飲み物の準備	事故報告	特になし	その他
1	6	4	2

その他の内容

1	大雨・台風時の時間変更連絡
---	---------------

Q13 システムの活用や書類の電子化について

	回答数	ぜひ導入した方がよい	導入してもよい	どちらともいえない	導入したくない
入退室管理システムの導入	21	8	10	2	1
保護者からの出席予定の提出、退所時間連絡の電子化	21	9	5	3	4
保護者連絡等へのアプリ活用	21	8	8	2	3
日報の電子化	21	6	6	3	6
事故報告等、各種提出書類の電子化	21	7	9	3	2

Q14 システムの活用、事務の電子化の推進に、課題や不安に感じること

1	アプリやソフトの利便性、本庁側のシステムの理解、運用能力など課題や不安は多い。また人によってや学童ごとによって適応すべきシステムに差があると思われる。新しいシステム導入のための費用より、ほかに予算や労力などを割くべきところがあるのでは？
2	システム化、電子化することで作業の時間の短縮にはなるかもしれないが、保護者や子どもとのコミュニケーションが取りづらくなる心配がある。
3	ネット環境が繋がらないなどのトラブルが不安です。機器なので、故障やトラブルが起きた時の対処法も必要かと思います。例えば、ポケットWi-Fiを緊急時に常備するなどです。
4	安心でんしょばとだけでも、毎回緊張しながら作業をしているので(誤字はないか、誤送信はないか、等)これ以上は少し厳しい気がする。
5	現段階でも保護者からの連絡等が確立されておらず、あんしんでんしょばとのツールでさえまともに見えない家庭がある為、連絡等も電子化にしてもあまり意味がないと感じている。日報も確かにペーパーレスを考慮すれば電子化の方が効率が良いかと思うがPCに向き合う時間が取れない状況下で、日報を電子化にするのは懸念される。入退室管理システムの導入はおおいに賛成だが、最終的には人がチェックをする事になるかと思う。そこを絶対大丈夫という確約がされたら素晴らしいと思う。(とある学童保育所で入退室管理システムを導入していたが、チェックがされておらずトラブルになったという事を聞いたことがある)
6	個人情報扱う場合現状はインターネットにつないでいないパソコンにて作業をしているため、電子化にともない個人情報の漏洩を万全にする必要があると思います。
7	職員全員がシステムを理解し、同じレベルで運用できるかどうかは課題として上がるのではないかと思います。(使用する保護者に質問された時に、どの職員も同じように答えられるようにしておかなくてはいけないと思います)
8	電子化することによって保護者へのリアルタイムの発信が求められ、保育をしながら作業することは難しいと考える。また、随時降所の変更や連絡事項を確認する作業が難しいと思う。
9	特に問題はなし。
10	二人体制の中で、保育しながらの事務仕事になる為、仕事が増えてしまう。
11	入退室の完全電子化は、惰性的な管理に陥る可能性が否めず、漏れの確認など長期的に見ると特にリスクが高いように感じる。日報などは手書きの方が早く、また保育中でも記入が可能。現場の人間でデジタルが得意な職員は少ない。だが、事故報告や提出書類においては、デジタルのほうが提出のやりとりが早かったりと、時と場合や現場によって使い分けが効く方がいい。出欠・退所時間、保護者との連絡については、保護者が仕事のために連絡が取りづらい場合も多く、デジタルでのやりとりがスムーズな場合も多いと感じる。連絡帳忘れなどにも対応できる利点もある。
12	変化することに関して課題は出てくると思うが試行しながら取り組んでいく必要がある。
13	保護者がスマホではなくガラケーを利用していた場合、アプリ使用できるのか
14	保護者の方との連絡が全くなくなることは懸念されます。出欠確認や降所時間の確認、入力等が電子化できれば、毎日の保護者の方への確認作業が簡素化できるので、助かります。
15	保護者への連絡、報告書などは電子化が良いと思います。児童の出席、退所時間などの連絡は連絡帳で行うことは大切だと思います。ただし、大型施設で、児童の登所してきている時間のような時間管理などは何か機械化で管理できると便利だと思います。(現在、保護者への登所・降所の時間をメールでお知らせするシステムは学校の保護者会を通して設置してもらっていますが、)学童の職員の方で把握できるシステムがあると良いと思います。

課題や要望(自由回答) 直営指導員/民営学童保育所 編

集団適応に課題のある児童の対応/障害児巡回相談について

回答者	内容
民営	加配基準ですが、支援を必要とする児童が手帳を所持していないケースが多いです。その場合、加配で職員を配置することができず人手が足りておりません。文面上の入所要件はクリアできていても、実際の現場では加配対象と捉えて職員は見守りをしています。もちろん、そうした児童の保護者の理解を得難いことは理解しております。だからこそ、加配条件の見直しをお願いします。もしくは、巡回相談のような専門の先生と保育の様子を見ていただき、アドバイスをいただける機会を定期的に設けていただきたいです。支援を必要とする児童には療育的視点が必要です。
民営	加配以外で見守りが必要だと思われる子が年々増えています。小学校にある情緒学級のような専門性のある学童保育所があると選択肢が広がると、共に学童職員の負担も軽減されるのではないかと思います。せっかくの総福学童さんがあるのに学年で入れないということもありました。申請可能学年を1年生からと幅を持たせて欲しいです。
公営	・学童の集団生活に適応できない子たちに日々手がかかることで、適応できている子たちまで保育が行き届かない。その子たちに我慢を強いている現状がある。適応できない子たちに対して障害巡回相談があるが、そもそも学童は本来、療育を主とする場ではないため限界がある。保育室が一つしかない学童やクールダウンをする部屋がない学童では特に対応に難しさを感じている。学校には通級や固定級があるが、学童ではその子たちも一つの部屋に集約させ保育をしている。保護者は預かってくれたらそれで良い、市も見守り保育で良い、だけど実際の現場ではそういうわけにいかず、子どもたちも生活しづらく、指導員も日々疲弊していく。環境を整える対策を考えてほしい。 →(対策例)①プレハブを増築する、②学校の空き教室を利用させてもらうなど。
公営	手帳を持つ障がい児はほとんどおらず、障害児枠には入らない障害の子がたくさんいます。
公営	手帳を持たない子どもの方が気になければいけないことが多く、職員の増員が難しければ、対応するためにも研修を受けた人材が必要と感じる。
公営	年々対応が難しい子どもたちが増えている現状で、人件費がかかるとはいえ、毎年同じ大人の人数でいいのか疑問だ。
公営	手帳がないグレーの子どもの対応に職員の手が取られる。ワンフロアのためクールダウンする場所がない。
公営	手帳を持ってはいないが、個別の関わり、フォローが必要な児童がとて多くいる。登所人数に合わせた職員配置では足りないと感じる日が多くある。また対応が難しい児童も多く、代替えさんでは手に負えず、人さえいれば良いというものでもないと感じる。代替え職員への研修、フォローも欲しい。
公営	手帳保持していない診断名のついていない児童や気になる子がとて多しと感じています。その対応には、事務時間の軽減によってカバーできるものではなく人手不足が一番の課題であると感じています。
公営	常時見守りを必要とする児童が多い。他害も多く、他の児童の安全確保や帰宅時間管理等保育が十分にできない状況にある。学校ではクラスを分けたり、各々に職員をつけて対応しているが、学童ではそれらの配慮がなくなり、一つの部屋で過ごすことになってしまう。せめてクールダウンさせてあげる別室があればうれしい。障害児等巡回相談もしていただいたがあまり効果がみられず、職員が毎日疲弊していつてしまっている状況。巡回の際などに係長などに現状を話すことができるのは非常にありがたい。ぜひ今後来ていただいて現状を見て話を聞いていただきたい。
公営	支援が必要な児童の巡回相談の際の作成書類に時間がかかる。もう少し気軽にいつでも相談できるとありがたい。
公営	立川市では配置基準に従って入所している(欠席を加味して増員している)が、現在発達障害や特性・持病をもった児童の入所が増える中、狭い室内・クールダウンの場所も確保できない・外遊びできない・暴言暴力を誘発する子・それらを目の当たりにしてストレスから不調を訴えたり恐怖を感じている子・保護者にお子さんの状況を伝えてもご理解いただけないなど課題は山積している。そのなかでみんながどのようにしたら少しでも心穏やかに過ごせるか…試行錯誤の毎日です。

児童の受入れ/定員数

回答者	内容
公営	・学童は本当に必要とする保護者だけの利用としていき、全体の保育人数を最小限にするためにしていく。 →(対策例)くるプレの利用時間を延長する→(例)3月・9月は18時まで、10月・2月は17時半、三期休業期間は朝8時半から利用可など。
公営	・通常の定員が慢性化され、2割増しで受け入れしている学童は、今の受け入れ人数を定員にしてはどうでしょうか？
公営	在籍人数が少ない学童は、受け入れ人数の見直しが必要だと思う。
公営	本当に学童保育が必要な家庭なのか気になる。上の兄弟などは家にいるが当該児だけ学童に通っている場合やおやつだけ食べて帰るような場合もある。くるプレに移ることも可能かと思う。そういった家庭への市からのアプローチがあってもいいのではないかと思う。
公営	人数が多すぎると感じています。待機児童問題もありますが、放課後事業もできると、60人、4人で保育できれば、もう少し子供の顔を見れるのかと思います。人数が多いと、課題の多い児童も多く、毎日、安全に降所させるだけで精一杯の日々になっています。

採用・処遇/人員配置/勤務環境

回答者	内容
民営	人員不足です。職員の数と質です。学童によると思いますが、人数そのものが足りていない学童もあります。そして、現代の学童は需要が高く、幅広い範囲の児童が利用しています。それに伴って専門的な知識の幅も広がっていると考えています。教職、保育士、放課後児童支援員では補えていません。そうした人材を配置するのに予算がかかるのであれば、ぜひ予算の見直しをご検討ください。
民営	課題は、新たな指導員の採用について心配なことが多くあります。子どもや保護者について真摯に大切に向き合うことがこのお仕事が一番大切なことです。学歴、経験、意欲、人間性、精神疾患があるかどうかなどしっかりとした基準が必要だと考えます。父母の会から始まった学童保育所ですが…求められていることがプロフェッショナルなことが多くなってきています。力のあるしっかりとした指導員が必要です。要望としては、とても難しいことではあると思いますが、社会的に職種としてしっかりと認めて欲しいと思います。お給料基準、正社員扱いではないなど保証がしっかりしていません。生活していく仕事として若い方はこの仕事を選ばれません。力のある方を集めるにお給料面で断念してしまう方を多くみてきています。とても大きなお話しですが、東京都、国の政策として、子どもたちのことを本当に考えているのであれば、その指導をする職員の地位向上が今後必要ではないかと思えます。高齢者・女性の働きを推進することも基盤がなくてはただ利用しているだけになるのではとも考えます。お給料面も受け入れ、家族にかかる時間を仕事にかけられるなど、その様な条件に合う方は少ないのが現実では。
民営	平日の職員配置は安定しているが夏季休業期間の職員配置にはばらつきがある。平日の配置から業務や子どもたちとの関係性を充実できるようにしていきたい。
公営	・6人の職場と、3人の職場で事務や保育の負担があまりにも違わずすぎます。せめて、3人職場を4人職場に変更できないのでしょうか？
公営	3人職場の解消。職員の業務事務負担で不公平が生じている。せめて4人配置とするべきだ。シフト変更をしなくても済むような、勤務体系を希望する。
公営	44人学童では職員が3人となっているが、1人が週休等で休みを取ると人数的には代替えさんがいてくれるが、気になる子の対応や飛び出し等を任せることが難しいため、全体指導・連絡帳の確認等でまわらないことが多い。
公営	8時に開所するのが一人だけの時(土曜日他)に、不測の事態が発生したときのことを考えると前日から不安を感じる。
公営	現在感じていることは職員体制の充実
公営	現場は、子どもの安全、安心を第一に考え、保育している所がほとんどだと思う。年々対応が難しい子どもたちが増えている現状で、人件費がかかるとはいえ、毎年同じ大人の人数でいいのか疑問だ。
公営	人手が充実することによって、簡単にかえられない環境面をカバーできることは多いように感じます。何より配置職員数をご検討いただけるとありがたいと日頃より思っております。

課題や要望(自由回答) 直営指導員/民営学童保育所 編

備品・予算

回答者	内容
公営	・予算について 子ども達へのおもちゃ・ゲームや本を買ってあげたい。時代遅れのボロボロの物ばかりで遊んでいる。立川で5年以上動いているが、子供たちにゲーム一つも買わずに新年度を迎えることが多い。トイレトーパーや洗剤などで予算を使い切ってしまうので、教材費として子供たちに使える予算をお願いしたい。 ・壊れたものを捨てることができない。経年劣化で壊れたものを処分することができず、物置化している。

間食費・保育料

回答者	内容
民営	近年物価上昇のためお菓子の購入に関して、試行錯誤をし、できる限りの手を尽くしているが、品数も減らさないと対応が厳しくなっている。現状に合わせて間食費も上げていかないと、今後の質の良い？満足できるだけの提供が厳しくなる。現場の声を吸い上げ保護者にも理解を促してほしい。
民営	保育料・間食費を保護者にもう少しご負担いただいていたいいと思います。 保護者にいただくアンケートの結果にもあるような補食になるような物に関しての購入はこの物価高騰の中では買うに買えないことがあります。通常のおやつに關しても質を下げるなどして対応せざるを得ない状況になります。 金額を上げることで保護者からの要求は増えるかもしれませんが、保育として成り立つ最低限のハードルはあっていいと思います。
公営	おやつのお購入先は生協が多く、現金購入は頻繁には行けないこともあり、間食費2000円では足りないと感じることがある。また生協注文やアスクル注文もネット注文ができれば間違いも防げるのではないかと思います。
公営	間食費は保育料とセットにして、一緒に納めてもらうことは難しいのだろうかと思ひます。

市の運営管理体制

回答者	内容
公営	・マニュアルの内容を再検討。変更したこと追記する内容があると思う。見てわかる内容に。
公営	全体的に現場の意見や状況が本庁の方々には見えていないように感じる。本庁と現場の状況が違うことを理解して通達などとしてきてほしい。施設の一存では様々なことの判断ができないのだから、そういったことも理解していただけてからおろしてきてほしい。
公営	延長保育時や土曜保育時に本庁の指示を受けることが難しい。

運営形態

回答者	内容
公営	・現場に上長が常に不在という課題があり、指導員同士の給与が同じ条件であっても、現場の指揮を取ったりチームをまとめる役割を担う職員が必要になり、その精神的負担も大きい。 →(対策例)①直営の学童は廃止し全て委託化していく、②各学童に主任を新たに配置する(指導員内)、③エリア担当の正職員を配置する(本庁内)※昔の児童館館長のような存在

施設環境・設備

回答者	内容
民営	建物の内外の老朽化が激しい
民営	今後は体を動かせるような遊びができればいいなと思っています。
公営	保育室が一つしかない学童やクールダウンをする部屋がない学童では特に対応に難しさを感じている。学校には通級や固定級があるが、学童ではその子たちも一つの部屋に集約させ保育をしている。保護者は預かってくれたらそれで良い、市も見守り保育で良い、だけど実際の現場ではそういうわけにいかず、子どもたちも生活しづらく、指導員も日々疲弊していく。環境を整える対策を考えてほしい。
公営	・児童ロッカーのサイズが小さい。
公営	6月から9月くらいまで気温が高く外遊びができないため、体育館を使用できるといいと思ひました。
公営	クールダウンする場所の確保は必要不可欠と思ひます。 ハード面の子ども居場所づくりも大切だと思ひますが、本当の意味での一人ひとりの居場所を作ってあげたい。そのためには、保育に専念できる環境を作ってほしいと思ひます。
公営	今後、入所希望児童が増える見込みがない場合は、施設スペースを縮小した方が保育しやすい。 学校内の空き教室を使うことを、検討できないか。
公営	施設の広さに対して子どもの人数が著しく少ないので、施設が広すぎることも子どもも大人も落ち着かない要因に感じる。 今後も人数の増加が見込まれないのであれば、施設を変えるなどの人数にあった環境を整えるのは保育に必要なと思ひます。
公営	ワンフロアのためクールダウンする場所がない。
公営	せめてクールダウンさせてあげる別室があればうれしい。
公営	子どもの人数に対してトイレが少ない。和式トイレを使用できる子が少ない。
公営	入所児童数に対してトイレの数が少ない。1日保育中の休憩時間や場所の確保が難しい。
公営	狭い室内・クールダウンの場所も確保できない・外遊びできない

保育の方針・あり方について

回答者	内容
民営	社会情勢的にも学童の需要は高くなっており、多くの児童が学童で過ごしていています。現場はどのレベルで保育すればよいのでしょうか？我々職員は子ども達に寄り添い、目の行き届く保育をしたいと考えておりますが、気持ちだけでは限界があります。運営主体である、市の方で現状の把握と改善を考えていただければと思ひます。未来を担う子どもたちの環境改善に予算を当ててください。
公営	経験や資格が違う職員の中で、それぞれの考え方を重視し、お互いが理解し合い協力し合って保育を行っています。そんな中で、子どもたちにとって、どんな学童保育所が良いのか悩みます。 また現場では課題を持ち、必要に応じて挙げていますが、実際に検討されないことへの不安が多いように感じます。もう少し、気軽に相談したり、一緒に考え合える体制が整うと良いと感じています。
公営	高学年児童と低学年児童の一斉保育の難しさ

安全管理

回答者	内容
公営	災害時の対応を明確にしてほしい。 他市のように明確に『災害レベル〇で閉所』とはっきり明記して決めてほしいです。 災害時の拠点開所の案はどのようになるのか？検討をお願いします。 また、災害時『警報・特別警報』で迎え(保護者同伴)が必須になることを、保育のしおりにわかりやすく記載して頂きたいです。

課題や要望(自由回答) 直営指導員/民営学童保育所 編

公営	災害時に子どもたちを安全に避難させる場所が確保できていません。そのため避難訓練をおこなっても実際に避難する練習ができません。このままでは、どこへも避難することができない状況です。周りの施設へ避難ができないかどうかなど、緊急の検討をお願いしたいと思います。
公営	有事の際の緊急避難場所が子供が通う小学校になっています(子供の足で15分程度)通学路にはブロック塀などもある住宅街ですので、避難場所としては適切ではないと思います。定期的に行う避難訓練も、実際には動けず、DVDを見せるなどの机上訓練にとどまっています。何とか改善を求めます。

ICTの活用・運用方法

回答者	内容
公営	・電話対応が日々10～20件以上あり大変です。せめて出欠席の連絡だけでも負担軽減してもらえると、保育時間もほんの少しだけ確保できます。今は連絡帳係は確実に保育者の人数ではありません。アプリの導入を一刻も早くお願いしたいです。(市内保育園や学校では導入されているので、できない理由があるのでしょうか?)
公営	市内に大雨等注意報が発令された際には、対象の保護者へ学童保育所から発信をしました。そのため、お迎え要請の場合だけではなく、検討依頼の段階でももっと安心でんしょぱとを活用してくださるとありがたいです。
公営	保護者の方への連絡がつきにくいことがある。メールやSNSなど仕事でも対応していただけることもあるので助かります。

事務負担

回答者	内容
民営	事務作業がもう少し簡素化できれば、言動や発達の気になる子どもたちに関わる時間が持てるので、できれば子どもに向き合う時間を多くしたいと思います。
公営	代替職員の手配及び賃金管理、たましんデータ管理・神経を研ぎ澄ませてやっていますが、負担は大きいです。
民営	保護者が持参する入所申請やその他の変更届や育成課への提出書類など、こちらがその場で確認する業務が多く、受け取った後の受領書の作成や、受け取った書類の管理、育成課へ巡回で渡すことが遅れてしまったりと現場での保育をしながら行うにはミスを起こすリスクを上げていると思う。安心、安全な保育現場にするには、手続きや必要書類の受け渡しは本庁でしていくことが望ましいと思います。
公営	金銭の関わることは、なるべく現場では避けたい。
公営	現在のシフトの勤務時間と事務仕事の量が全く合っていないと思います。間食費についての事務や代替え手配など、落ち着いてできる時間が欲しいです。
公営	事務量のわりには、PCが一人一台なく、不都合を感じる事がしばしばあります。
公営	代替え賃金・代替え手配の対応が一番早いDX化につながると思います